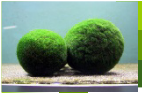




# 世界遺産について

総合政策部都市経営課



# 世界遺産の概要

## ● 世界遺産とは

- 人類共通のかけがえのない財産として、将来の世代に引き継いでいくべき宝物
- 1972年の第17回UNESCO総会で採択された世界遺産条約の中で定義

## ● 世界遺産の種類

### 【文化遺産】

顕著な普遍的価値を有する記念物、建造物群、文化的景観など

例) インドのタージ・マハル、ドイツのケルン大聖堂など

### 【自然遺産】

顕著な普遍的価値を有する地形や地質、生態系、絶滅の恐れのある動植物の生息・生育地など

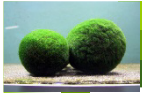
例) タンザニアのキリマンジャロ国立公園、アメリカのイエローストーン国立公園など

### 【複合遺産】

文化遺産と自然遺産の両方の価値を兼ね備えているもの

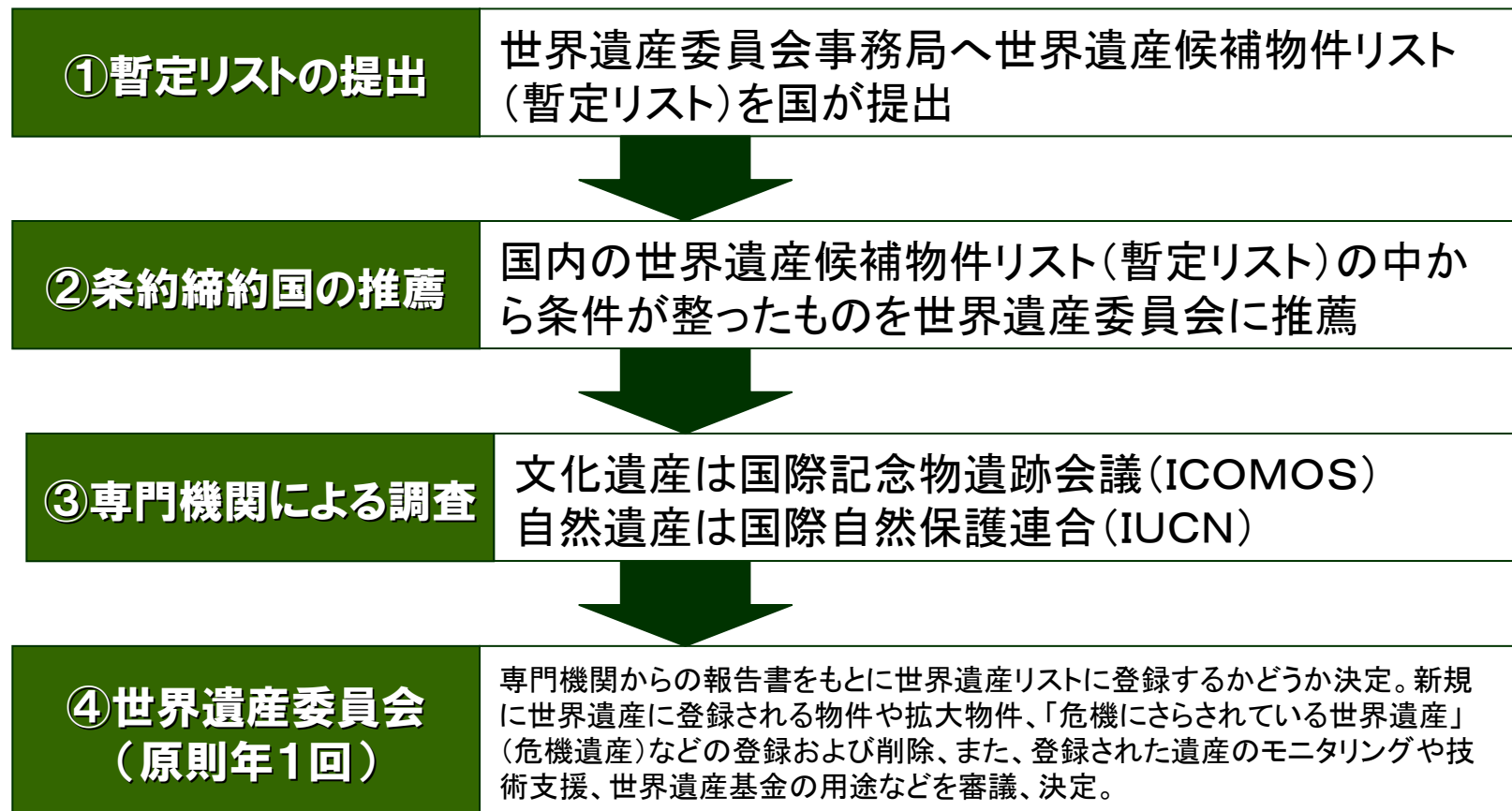
例) ギリシアのメテオラ、グアテマラのティカル国立公園

出典: 環境省・公益社団法人日本ユネスコ協会連盟

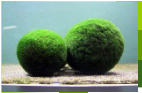


# 世界遺産の概要

## ● 世界遺産登録までの流れ



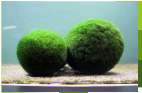
出典：公益社団法人日本ユネスコ協会連盟



# 世界遺産の概要

## ● 暫定リストとは

- 各締約国が世界遺産一覧表へ登録することがふさわしいと考える、自国の領域内に存在する資産の目録。締約国は各自の暫定リストに、顕著な普遍的価値を有する文化遺産又は自然遺産であると考えており、将来登録推薦を行う意思のある資産の名称を示す必要がある。
- 締約国の暫定リストにすでに記載されていない資産の世界遺産一覧表への登録推薦は検討に付されない。
- 締約国は、遺産管理者、地方自治体、地域のコミュニティ、NGO、その他の利害関係者、協力者を含む幅広い関係者の参加を得て、暫定リストの作成を行うことが推奨される。

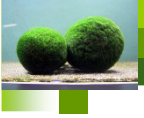


# 世界遺産の概要

## ● 世界遺産（自然遺産）の登録の条件等

- 「世界遺産条約履行のための作業指針」で示されている下記の登録基準のいずれか1つ以上に合致するとともに、完全性の条件を満たし、締約国の国内法により、適切な保護管理体制がとられていること
- 登録基準（クライテリア）

- (vii) 最上級の自然現象、又は、類まれな自然美・美的価値を有する地域を包含する。
- (viii) 生命進化の記録や地形形成における重要な進行中の地質学的過程、あるいは重要な地形学的又は自然地理学的特徴といった、地球の歴史の主要な段階を代表する顕著な見本である。
- (ix) 陸上・淡水域・沿岸・海洋の生態系や動植物群衆の進化、発展において、重要な進行中の生態学的過程又は生物学的過程を代表する顕著な見本である。
- (x) 学術上又は保全上顕著な普遍的価値を有する絶滅のおそれのある種の生息地など、生物多様性の生息域内保全にとって最も重要な自然の生息地を包含する。



# 世界遺産の概要

## ● 完全性の条件

- 完全性は、自然遺産の特質のすべてが無傷で包含されている度合いを測るためのものさし。完全性の条件を調べるためには、当該資産が以下の条件をどの程度満たしているかを評価する必要がある。
  - a) 顕著な普遍的価値が発揮されるのに必要な要素がすべて含まれているか。
  - b) 当該資産の重要性を示す特徴を不足なく代表するために適切な大きさが確保されているか。
  - c) 開発及び、又は管理放棄による負の影響を受けているか。
  
- 登録価値基準(vii)から(x) までに基づいて登録推薦される資産は、全て、生物物理学的な過程及び地形上の特徴が比較的無傷であること。しかしながら、いかなる場所も完全な原生地域ではなく、自然地域は全て動的なものであり、ある程度人間との関わりが介在することが知られている。伝統的社会や地域のコミュニティーを含めて、人間活動はしばしば自然地域内で行われる。そのような活動も、生態学的に持続可能なものであれば、当該地域の顕著な普遍的価値と両立し得る。



# 世界遺産の概要

- 登録価値基準(vii)から(x)に基づいて登録推薦される資産は、各基準毎に完全性の条件が定義されている。
  - (vii) 顕著な普遍的価値を有すると同時に、資産の美しさを維持するために不可欠な範囲を包含していること。
  - (viii) 関連する自然科学的関係において相互に関連し依存した鍵となる要素の全て又は大部分を包含していること。
  - (ix) 生態系及びそこに含まれる生物多様性を長期的に保全するために不可欠なプロセスの鍵となる側面を現すために十分な大きさをもち、必要な要素を包含すること。
  - (x) 生物多様性の保全にとって最も重要な存在であること。生物学的に見て、最も多様性・代表性の高い資産のみがこの基準を満たし得ると考えられる。関係する生物地理区、生態系の特徴を示す動植物相の多様性を最大限維持するための生息環境を包含していることが求められる。